

【施設状況】

グループ名称	上町人権同和教育集会所						
指定管理者名	01105	長野市上町人権同和教育集会所運営委員会					
所管課	主	086500	人権・男女共同参画課	副			
構成施設	1426	上町人権同和教育集会所					
施設分類	03	施設貸出2型	施設利用者圏域	01	地域施設	利用制適用区分	01 代行制
施設概要	人権同和教育集会所（室数3、調理実習室1）						
施設設置目的	人権・同和問題の理解と認識を深め、地域住民の社会教育活動を助長するため						
基本方針等	施設及び設備の適正な維持管理を図るとともに、人権・同和問題学習講座等の開催を通して、人権・同和問題の理解と認識を深め、地域住民の社会教育活動を助長する。						
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・人権・同和問題の理解と認識を深める事業 ・地域住民の教養を高め、生活の改善を図る事業 ・その他設置目的を達成するために必要な事業 						

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	協定、実施計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	協定、実施計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	協定、計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	<ul style="list-style-type: none"> ・協定、計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	<ul style="list-style-type: none"> ・協定、計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	長野市上町人権同和教育集会所運営委員会	指定回数	3 回
指定期間	平成23年4月1日 ~ 平成28年3月31日	5年	管理運営開始日 平成18年4月1日
指定管理者の健全性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。		評価
	特記事項 (問題等があった場合に、その内容等を記入)	地域（区及び各種団体等）の代表者等で構成される運営委員会が、施設の設置目的や基本方針等を尊重する中で、地域に根差した管理運営を行っている。	

2 施設の有効活用

No. 12

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)		利用区分等	単位	H23	H24	H25	H26	対前年比	評価
		人権同和教育集会所	人	1,620	1,996	2,058	1,765	86%	4
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
(特記事項)									
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由				
	市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> ・使用の許可等 ・施設及び設備の維持管理 ・人権・同和問題学習講座等の開催 ①人権と地域を考える学級講座(3回)、②運営委員の人権学習及び話し合い(5回) ・人権・同和教育研修会への協力 ①篠ノ井地区人権同推協塩崎支部研修会(2回)、②塩崎小学校6年生の集会所現地学習「人権を考える」 ・人権・同和教育研修会への参加 ①篠ノ井地区学社連携研修会 ・人権啓発紙「集会所だより」の発行(1回) 							
	自主事業								
サービス維持・向上の取組み(広報等)		地域の拠点の一つとして、日頃から利用促進等の呼びかけが行われている。 また、人権・同和問題学習講座等の開催、小学生の集会所現地学習への協力、啓発紙の発行など、地域ぐるみの取り組みが展開されている。							

3 利用者評価

No. 12

利用者評価	区分	内容		評価
	利用者評価	利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法 利用者会議等	(2) 調査、会議等の内容 利用者でもある地域の代表者等で構成される運営委員会が、定期的に会議を開催し、要望の把握に努めている。
		(3) 調査、会議等の結果 運営委員会の会議の開催を通して、地域の実情に合った、より利用しやすい施設の運営管理について話し合いが行われている。		
	利用者からの評価・苦情等	(1) 良好とする評価	(2) 苦情・改善等の要望事項	
		<<対応措置>>		

4 事業収支

事業収支 (単位：円)	指定管理者収支（平成26年度）				市の収支				評価
	年度計画額		収支実績額		平成26年度決算		平成25年度決算（前年度）		
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
収入	利用料金		利用料金		歳入	使用料		使用料	
	指定管理料	361,000	指定管理料	361,000		雑（納付金）		雑（納付金）	
支出	委託料		委託料		歳出	行政財産目的外使用料		行政財産目的外使用料	
	販売収入等		販売収入等			その他		その他	
	その他収入	112	その他収入	3,249					
	繰越金	117,888	繰越金	117,888					
	計	479,000	計	482,137		計	0	計	0
自主事業	人件費		人件費		自主事業	指定管理料	361,000	指定管理料	361,000
	設備管理費	40,000	設備管理費	29,444		委託料	421,200	委託料	
損益	備品購入費	20,000	備品購入費	18,028	差引	需用費		需用費	
	修繕費	20,000	修繕費	14,400		役務費		役務費	
	光熱水費	165,000	光熱水費	146,434		使用料・賃借料		使用料・賃借料	
	事業費	180,000	事業費	107,579		修繕費		修繕費	5,000
	事務経費	50,000	事務経費	51,952		工事請負費	1,868,400	工事請負費	
	本社経費		本社経費			備品購入費		備品購入費	
	その他	4,000	その他			その他		その他	
	計	479,000	計	367,837		計	2,650,600	計	366,000
	収入		収入						
	支出		支出						
	自主事業損益	0	自主事業損益	0					
	損益	0		114,300			-2,650,600		-366,000
人件費比率【人件費（賃金等）／平成25年度指定管理者事業支出】（支出に占める人件費の割合）									0.0%
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由									

5 管理運営全般 ※すべて で、「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価	
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3	
	配置実績 (うち市内雇用職員数)			地域の代表者等で構成されている運営委員会により、適正に管理運営が行われている。
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか			
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか			
平等利用	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3	
	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか			
経理	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3	
	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか			
施設・備品の維持管理	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3	
	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか			
セルフモニタリング等	2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3	
	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか			
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3	

6 危機管理体制 ※すべて☑で、「3」。1カ所でも空欄の場合は「1」。「4」「5」とする場合は、
評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
危機管理体制	安全対策	☑	3
	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか		
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか		
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
	個人情報保護	☑	
	防犯、防災対策	☑	
	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか		
2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか			
緊急時対応、体制	☑		
1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか			
2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか			

7 地域連携

地域連携	評価		
地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。また、市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。	3		
協定内容・指定管理者提案			追加された内容、未実施の内容及びその理由
地域の代表者等で構成されている運営委員会が管理運営していることから、地域との連携が十分に図られている。			

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価	
指定管理者の健全性	3	6	合計得点 64	
施設の有効活用	4	16		
利用者評価	3	6		
事業収支	3	6		
管理運営全般	3	12		
危機管理体制	3	12		
地域連携	3	6		

評価理由

地域の代表者等で構成されている運営委員会が、地域の实情に合った適切な事業運営を行っている。特に、人権と地域を考える学級講座の開催、小学生の集会所現地学習への協力、啓発紙の発行など、人権への取り組みが地域ぐるみで展開されている。また、施設及び設備についても、地域の集会所として大切に使用されており、適切に維持管理が行われている。

取組み・改善案等
(施設所管課)

前年度からの課題

改善状況

改善案等 (改善されていない場合)

次年度の目標・
取組み等
(施設所管課)

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

- ・ 地域の人権問題を考える拠点として学習講座を開催するとともに、運営委員を中心として、人権への理解と知識を深めるように努めた。

② 業務の効率化に対する取組み

- ・ 諸経費の節減や冷暖房等、光熱水費の節減に努めた。

③ その他

- ・ 整理整頓を徹底し、また、毎月当番制で清掃を行った。

(2) 指定管理者業務実施上の課題

- ・ 人権・同和問題の重要性を認識し、その意識の啓蒙のための活動を更に広げたい。
- ・ 使用マナーの徹底を図りたい。

(3) 次年度以降の取組み

- ・ 地域の各種団体の利用を促し、地域社会の結びつきを深める役割を伴った地域の拠点としての活用を促進させたい。

【指定管理者自己評価基準】

A: 計画や目標を上回る、B: 計画や目標をやや上回る、C: 計画や目標どおり、D: 計画や目標をやや下回る、E: 計画や目標を下回る